

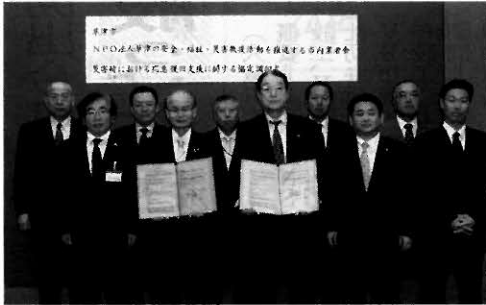
草津市と変更協定

森川理事長 共有と連携強化推進

NPO草津 災害時の応援内容充実へ

草津市を拠点とする建設
関連事業者102社でつく
る特定非営利活動法人「草

津の安全・福祉・災害救援
活動を推進する市内業者
会」（略称「NPO法人草



津市内業者会・理事長
森川守樹(千商代表取
締役)は15日付けで、
草津市と「災害時にお
ける応急復旧支援に関
する協定」を締結した。
協定は、草津市内に
発生した風水害、地震
協定書を手にする
森川理事長(右か
ら5人目)、橋川市
長(同7人目)とN
PO草津役員、市
幹部ら

災害、武力攻撃災害その他
による災害の緊急時、両者
が相互に協力し、必要な応
急復旧対策を円滑に講じる
ため締結するもの。同様の
協定は以前に結んでいる
が、協定内容を充実させて
いこうとの両者の思いか
ら、内容等を見直し今回変
更協定を結ぶに至ったもの。
15日に草津市役所で開か
れた協定調印式には、NP
O草津側から森川理事長、
辻由夫副理事長、綾城正壽
副理事長、守野洋史理事、
古賀正貴理事、竹島慎泰理
事、草津市からは橋川涉市
長、小寺繁隆総務部危機管
理監、北中建造建設部部长、
吉川寛同副部長らが出席。
あいさつした橋川市長

は、「一昨年の台風18号で
は草津市内でも数カ所の土
砂崩れが発生、残念なこと
に隣の栗東市では人命が失
われるという大きな災害に
見舞われた。行政の力では
とても対応できない重機を
使った機動力をはじめ市内
業者会の力は大変大きく、
心強い」と述べ、森川理事
長は「日頃より築いてきた
市との協力・信頼関係に基
づく協定であり、協定を機
にさらなる技術と知識の共
有を深め、連携の強化を進
めたい」と述べた。
その後、森川理事長と橋
川市長がそれぞれの協定書
に署名・押印。固い握手と
ともに協定書を取り交わし
た。